

11月号  
No.702

ラポール[raport]  
相互の信頼関係、つながり、関係の意。

大阪労働者福祉協議会

<http://www.osakarofukukyo.or.jp/>



▲2023・2024年度の具体的な運動の進め方などを確認した第61回定期総会

友だち募集中  
LINE公式アカウント  
大阪労福協が主催する各種講演会やセミナー、美術展などの情報を配信します。



総会後に行われた臨時理事会で、会長、副会長、事務理事、事務局長、理事など新年度の役員の任命分担が決まり、労福協運動の一層の推進と具体的な事業を進めています。

発行所  
一般社団法人・  
大阪労働者福祉協議会  
〒540-0031  
中央区北浜東3番14号  
電話06(6943)6025  
毎月1日発行 1部20円  
発行人 黒田 悅治  
編集協力・機関紙広報研究センター

大阪労福協定期総会

「福祉はひとつ」を基本に運動推進

セーフティネットの基盤構築へ

一般社団法人・大阪労働者福祉協議会（大阪労福）第61回定期総会が10月31日、大阪市中央区のエル・おおさか南館ホールで開かれた。大阪府、大阪市、堺市から来賓を迎えて挨拶した田中宏会長は、新型コロナウイルス感染症対策が5類へ移行後の社会状況にふれ、「日本社会はコロナ禍前の状況が戻りつつあるが、反動は大きい。新型コロナは改善されたとは言い難い。長びく物価高の影響もあり、実質賃金の減少、休業や廃業に追い込まれた業種や非正規雇用で働く人

などが深刻な状況に陥り、生活困窮者は増加の一途をたどっている」と日本社会の現状を分析した。

その上で「SDGsがめざす『誰一人取り残さない』持続可能な社会を実現するためにも、引き続き国

や行政に対して社会保障制

度の改善を求めていく。大

阪労福協の基本理念「働く人ひととの家族の生活向上と安定をほかり平和で豊かな暮らしを保障する社会の実現をめざす」を掲げ、人と人のふれあい、支えあうことを大切にする連帯社会に転換するために、本にした多くの事業を進めている。定期総会での活発

な議論をお願いしたい」と述べた。

報告事項として、高崎敦雄事務局長から2022年度事業・活動報告があり、大阪府への政策・制度要請、奨学金問題への取り組み、大阪労福協結成70周年記念事業などの報告事項、生活困窮者への取り組みや、大阪府社会保険労務士会との連携強化などを重点項目とする2023年度事業方針が示された。

多賀雅彦専務理事からは

大阪労福協の主要事業であるセミナー事業や広報活動の強化、効率的な予算執行にもとづく収支予算が提示された。

決議事項では、第1号議案

案2022年度決算の承認から第3号議案2023・

2024年度役員改選（案）までの全議案が満場一致で承認された。

ラボール  
はたらくあなたへ 笑顔を届けに  
近畿ろうきん

【全国ろうきん初】2023年度グッドデザイン賞を受賞しました！

~近畿ろうきん「教育ローン de 子育て応援プロジェクト」の仕組みが、社会をよりよく変えるデザインとして評価~

近畿労働金庫が実施しております「教育ローン de 子育て応援プロジェクト」がこの度、2023年度グッドデザイン賞（主催：公益財団法人日本デザイン振興会）を受賞しました。

### 1. 「教育ローン de 子育て応援プロジェクト」とは

近畿労働金庫の教育ローンご利用者における、新規融資額の0.05%相当（最大250万円）を当金庫が拠出し、「子育て支援活動」を進めるNPO法人等の事業に助成する仕組みです。教育ローンを通してお子さまの夢を応援する親の思いが、地域にて子育て支援活動を行う団体への支援にもつながる取組みとなります。

### 2. 本プロジェクトが誕生した背景

戦後、物資が乏しい日本において、信用力のない労働者等は金融機関を利用することが難しい状況でした。そこで1950年、労働組合等が中心となり、金融包摶を目的とした協同組合組織の金融機関である「労働金庫」が創設され、その運動は全国に発展しました。近畿労働金庫は、はたらく人の金融機関として金融包摶を守り抜く一方、地域社会の課題解決に取り組むNPO法人等へ、2000年に日本で初めて、事業性資金等を目的とした融資商品である「社会的事業融資」の販売を開始しました。以降、エイブル・アートへの取組みをはじめ、NPO法人等の非営利共同セクターとの連携を強めていくなか、子どもの貧困等の課題に取り組む団体が活動資金難に直面している点に着目し、本プロジェクトを立ち上げました。

### 3. 本プロジェクトの経過と成果

「人々が喜びをもって共生できる社会の実現に寄与する」と定めた企業理念のもと、地域社会との共生をめざした取組みの一つとして、社会的課題である「子育て」に着目し、子を思う親の気持ちが地域の子育て支援にもつながる利用者参加型の事業として、教育ローンの利用を通じた活動を2006年度から取り組んでいます。これらの取組みを通して、当金庫のステークホルダーへ広く情報発信することにより、各団体の認知度向上に寄与するだけではなく、寄付金により新たな事業の試みや事業活動を行ううえでの一助になるなど、当事業に対して感謝や評価のお声をいただいております。社会にとって意思のあるお金の循環（グッドマネー）を生み出す取組みとなっています。



GOOD DESIGN  
AWARD 2023

ホームページ：<https://www.rokin.or.jp>

教育ローン de 子育て応援プロジェクト：[https://www.rokin.or.jp/child\\_support/](https://www.rokin.or.jp/child_support/)

